

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称	パーマケム OB-2	SDS No. 2020
会社名	株式会社パーマケム・アジア	
住所	東京都中央区日本橋堀留町1丁目10番11号	
担当部門	営業部	
電話番号	03-3663-8091	
ファクシミリ番号	03-3663-8005	
推奨用途	工業用防腐剤	
使用上の制限	工業用途にのみご使用ください。	
緊急連絡先	R&Dセンター 電話番号; 045-776-3444	作成・改訂 : 2024年10月25日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

- 健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) ; 区分4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ; 区分2
皮膚感作性 ; 区分1
環境に対する有害性 : 水生環境有害性(急性) ; 区分3
* 物理化学的危険性も含め、その他の項目は分類できない、または区分に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 飲み込むと有害

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

水性生物に有害

注意書き[安全対策] : 取扱後は手などをよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

[応急措置] : 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着

用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 大量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

[廃棄] : 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して

廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス(2-ヒドロキシエチル)-1,3,5-トリアジン	2-アミノエタノール
CAS No.	4719-04-4	141-43-5
官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	(5)-998 (5)-1080	(2)-301
濃度又は濃度範囲	80%	1%未満

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静を保ち、速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに付着した衣類、靴などを脱ぐ。付着した部分を大量の水又は微温湯を流しながら石鹸を使用して完全に洗い落とす。刺激や発疹など、なんらかの症状が生じた場合は、医師の手当てを受ける。
汚染した衣類は再使用する前に洗濯する。

眼に入った場合 : 直ちに眼瞼を押し広げて、流水で数分間注意深く洗眼する。(コンタクトレンズをしていて外せる場合は外す。)その後も最低15分間洗眼を続けて完全に洗い流し、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 嘔吐させない様、水で口の中を洗浄し、コップ1-2杯の水を与えて胃内を薄め、直ちに医師の手当てを受ける。意識のない場合には口から何も与えてはならない。

予想される急性症状及び遅発性症状

: 飲み込んだ場合 ; 有害

眼に接触した場合 ; 刺激性

長期または繰り返しの暴露で、アレルギー性皮膚炎を生じる可能性がある。

*これらの症状は暴露から遅れて出ることがあるので、十分な経過観察が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤 : 周辺火災に適した消火剤を使用する。
(泡消火剤、炭酸ガス、粉末消火剤、水(噴霧)、乾燥砂)

特有の危険有害性 : 火災により刺激性の有毒ガスが発生する恐れがある。

特有の消火方法 : 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
必ず呼吸保護具を着用し風上から作業する。
危険でなければ容器を速やかに安全な場所に移す。
周辺火災の場合、周囲の設備等に散水して冷却する。

消火を行う者の保護 : 適切な空気呼吸器と保護具(化学防護服等)を必ず着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして、立ち入りを禁止する。
密閉された場所の場合は、立ち入る前に換気する。
作業の際には必ず保護具を着用する。(第8項参照)

環境に対する注意事項 : 流出したものが下水や河川等の環境に排出されないようにする。

封じ込めおよび浄化の方法および機材

: 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、空容器に回収する。
少量の場合、不活性な吸収材に吸収させて空容器に回収する。
回収したものは第13項に従って廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

技術的対策 : よく換気された場所で取り扱い、必要に応じて局所排気を行なう。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。
人体や衣服に触れないように、第8項記載の保護具を着用して取り扱う。

安全取扱注意事項 : エアロゾルを発生させないように取り扱う。
混触危険物質と接触しないように取り扱う。(第10項参照)

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食・喫煙をしないこと。

[保 管]

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。
混触危険物質から離して保管する。(第10項参照)
- 安全な容器包装材料 : 包装形態のまま保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 : 日本産業衛生学会(2023年版): 7.5mg/m³ (2-アミノエタノール)
ACGIH(2019 TLVs and BEIs): 3ppm (2-アミノエタノール)
- 設備対策 : 密閉された装置、機器にて使用するのが好ましい。
ミスト/蒸気などが発生する恐れのある場合は、局所排気装置を使用する。
取扱いの場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼等のための設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
- 保護具 呼吸用保護具 : 適切な保護マスクを使用する。
- 手の保護具 : 不浸透性の保護手袋(ラテックスなど)
- 眼の保護具 : ゴーグル型又は側板付き保護眼鏡
- 皮膚及び体の保護具 : 不浸透性の保護衣、長袖長ズボン、ゴム長靴など

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 無色～微黄色
- 臭い : 特異臭
- 沸点, 初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 : 常温常圧下では認められない
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
- 引火点 : 示さない
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : 約10.5(1%水溶液)
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : 水 ; 易溶
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 密度及び/又は相対密度 : 1.15(30°C)
- 相対ガス密度 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性, 化学的安定性 : 通常の保存条件下では安定。
- 危険有害反応可能性 : 酸性物質、還元性物質、酸化性物質と接触すると分解を生じる。
- 避けるべき条件 : 高温、直射日光
- 混触危険物質 : 酸性物質、還元性物質、酸化性物質
- 危険有害な分解生成物 : 知見なし

11. 有害性情報

- 急性毒性 : 経口 マウス LD₅₀ 575 mg/kg
- 皮膚腐食性/刺激性 : 刺激性は低いと推測されるが、充分な知見がないので取り扱いには注意すること。
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 刺激性あり*1
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性
- 呼吸器 : データなし。
- 皮膚 : 長期あるいは繰り返しの接触によりアレルギー性皮膚炎を起こす可能性がある。*1
[区分1の成分を含む]
- 生殖細胞変異原性 : ラットを用いた経口、経皮、皮下投与による小核試験(体細胞を用いるin vivo試験)
において陰性を示した。*1
- 発がん性 : データなし
- 生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: データなし

誤えん有害性

: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 : ヒメダカ LC₅₀ 61 mg/L (48時間)

残留性・分解性 : 良生分解性である。*2

生体蓄積性 : 生体蓄積性は低いと推測される。

土壤中の移動性 : 知見なし

オゾン層への有害性 : モントリオール議定書附属書記載の有害物質を含有していない。

化学的酸素要求量 : COD_{Mn} 250 mgO/L(0.1%水溶液)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 残余物や洗浄液は直接環境中(河川、湖沼、下水道等)に廃棄してはならない。
廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装 : 使用後の空容器は充分に水洗してから廃棄物処理業者へ委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 : 非該当

品名 : —

国連分類 : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

陸上 : 消防法非危険物

海上 : 船舶安全法の規定に従う。

航空 : 航空法の規定に従う。

15. 適用法令

化審法 : 特定、監視化学物質に非該当

安衛法 : 第57条の1 表示対象物質

ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス(2-ヒドロキシエチル)-1,3,5-トリアジン 80%
「2025年4月1日以降」

第57条の2 通知対象物質

2-アミノエタノール 1%未満
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス(2-ヒドロキシエチル)-1,3,5-トリアジン 80%
「2025年4月1日以降」

安衛則第594条の2 皮膚等障害化学物質等

2-[3,5-ビス(2-ヒドロキシエチル)-1,3,5-トリアジン-1-イル]エタノール;
1,3,5-トリアジン-1,3,5(2H,4H,6H)-ートリエタノール(皮膚刺激性有害物質)

消防法 : 非危険物

毒劇法 : 非該当

化管法 : 第一種指定化学物質 政令番号1-432 ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス
(2-ヒドロキシエチル)-1,3,5-トリアジン) 80%

16. その他の情報

参考文献 : *1...GHS分類結果(厚労省・環境省平成20年事業)

*2...既存化学物質点検データ(S59)

このSDSは現時点で入手できた情報並びに当社の実験的試験資料に基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険性・有害性等に関しては、実際の現場使用結果を保証するものではありません。実際の御使用にあたっては、ユーザー各位において事前に現場使用条件下での効果・影響を十分に御確認下さい。